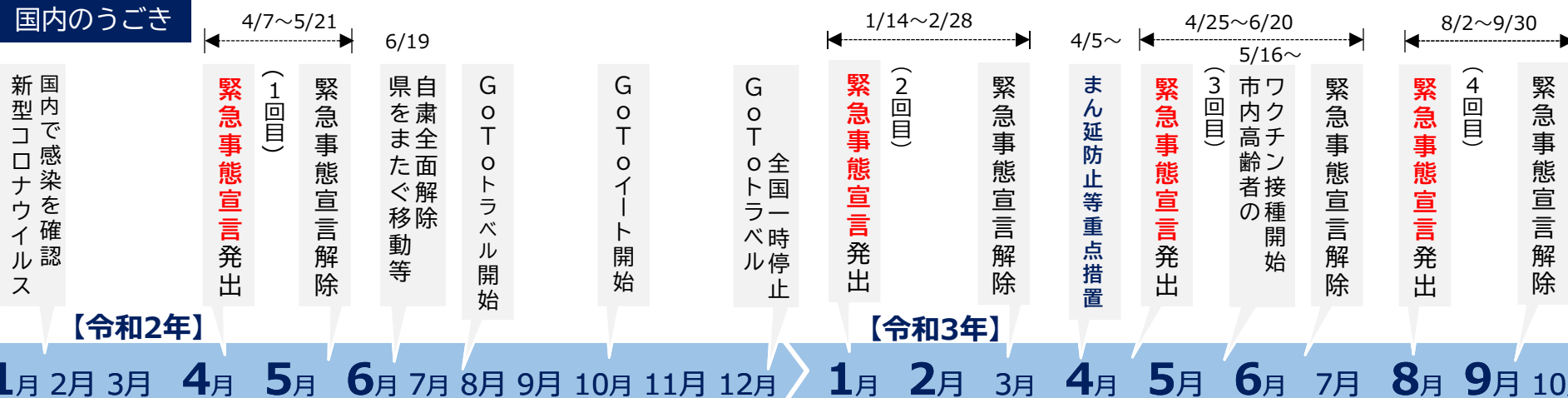


令和3年度 第1回高槻市自動車運送事業審議会

**新型コロナウイルス感染拡大に伴う
市営バス事業への影響**

1 新型コロナウイルス感染拡大による市営バス事業への影響

国内のうごき



市内大学

休校・遠隔授業 (春学期) 対面授業 再開 (秋学期) 通常どおり 休校・遠隔授業 対面授業 再開 遠隔授業

市営バス

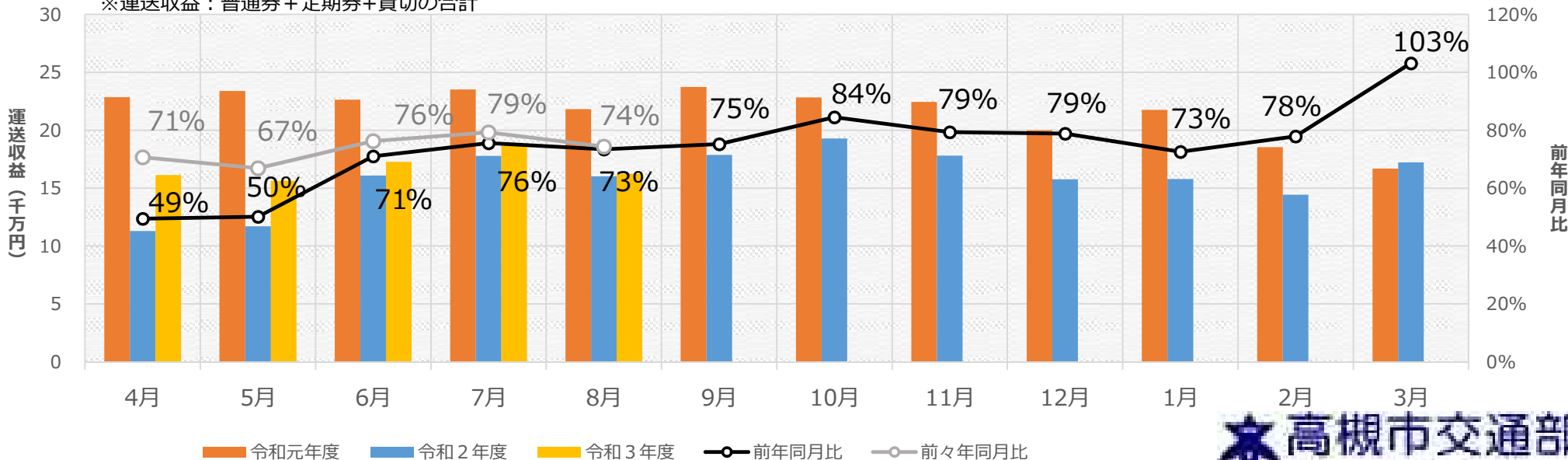
5/18~
学休ダイヤに変更 (通常の学休期間に入るまで)

★ 利用者の減少を踏まえたダイヤ改正

4/26~6/20 学休ダイヤに変更
4/29~5/9 一部の最終便を運休

9/21~10/11

※運送収益：普通券+定期券+貸切の合計



2 新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮した収支予測

今後10年間で収支均衡を図ることができるとしていた「高槻市営バス経営戦略」策定時点(令和2年12月)の収支予測に対して、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮した令和3年度を初年度とする今後10年間の収支予測(シミュレーション)を行った

【試算上の想定条件】

1. 収益

番号	項目	令和3年度～令和5年度(3箇年)	令和6年度～令和12年度(7箇年)
(1)	普通券	各券種ごと(Tsukica、ICOCA等)に、コロナ禍収束後も新たな生活様式が定着し、令和6年度は令和元年度(コロナ影響なし)の10%減になると仮定し、令和3年度～令和5年度はその間の比例で算出	令和6年度は左記を参照 令和7年度以降は令和元年度(コロナ影響なし)以前の減少率(年1.2%減)を適用して算出
(2)	定期券	(1)普通券と同様の考え方で算出	令和7年度以降、令和6年度と同額で算出
(3)	高齢者福祉乗車券	(1)普通券と同様の考え方で算出	令和7年度以降は高齢者の将来人口予測に基づく増減率を適用して算出
(4)	障がい者福祉乗車券	令和3年度は9千万円で固定 令和4年度以降は利用回数に応じた負担金制度に見直す予定(資料-6参照)のため、令和6年度は令和元年度の10%減になると仮定し、令和3年度～令和5年度はその間の比例で算出	令和6年度は左記を参照 令和7年度以降は障がい者手帳交付者増加率(年2%増)及びIC乗車券申請率(手帳交付者の90%)を適用して算出
(5)	貸切	令和3年度は病院等シャトルバスは契約実績金額、一般貸切は令和2年度よりも少なくなると仮定した見込み金額で算出 令和4年度及び5年度の病院等シャトルバスは令和3年度と同水準、一般貸切は令和2年度と同水準になると仮定して算出	令和6年度以降は、病院等シャトルバスは令和3年度と同水準、一般貸切は令和元年度と同水準になると仮定して算出
(6)	生活交通路線維持事業補助金(営業外収益)	令和3年度中に制度を見直す予定(資料-6参照)であり、令和3年度はその見込み額(約3億2千万円)とし、令和4年度以降は3億円に固定	

2. 費用

番号	項目	令和3年度～令和5年度(3箇年)	令和6年度～令和12年度(7箇年)
(1)	人件費	令和3年度は4月1日に実施したダイヤ改正による人件費削減効果額を適用して算出(令和2年度から約5千万円減) 令和4年度以降は令和3年度の人件費を基準に経営戦略策定時(令和2年度)の増減傾向を反映して算出	
(2)	物件費	経営戦略策定時(令和2年度)の収支予測値を適用	
(3)	経費	令和3年度当初予算額を適用	
(4)	減価償却費外	経営戦略策定時(令和2年度)の収支予測値を適用	
(5)	営業外費用	令和3年度当初予算額を適用	

2 新型コロナウイルス感染拡大を考慮した収支予測

収支シミュレーション(R3~R12)

(単位:千円)

← コロナ回復期間

→ コロナ収束後の新しい生活様式定着

【収益】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
普通券	1,067,063	1,187,720	1,296,987	1,326,847	1,329,549	1,312,045	1,311,040	1,294,669	1,293,267	1,278,455
Tsukica	196,528	223,075	241,232	252,913	253,858	254,460	254,742	254,726	254,436	253,895
ICOCA等	431,026	478,368	520,890	518,248	520,186	521,419	521,996	521,963	521,369	520,260
PiTaPa	256,542	285,917	309,463	327,974	329,200	329,981	330,346	330,325	329,949	329,247
高齢者(割引)乗車券	7,854	7,994	24,403	23,316	41,660	39,611	53,875	52,590	66,093	66,007
現金・企画券等	175,112	192,366	200,998	204,396	184,644	166,574	150,082	135,066	121,421	109,046
定期券	684,840	717,879	749,489	781,098	781,098	781,098	781,098	781,098	781,098	781,098
通勤	584,753	591,443	591,443	591,443	591,443	591,443	591,443	591,443	591,443	591,443
通学	100,087	126,437	158,046	189,655	189,655	189,655	189,655	189,655	189,655	189,655
普通券+定期券合計	1,751,903	1,905,600	2,046,475	2,107,945	2,110,647	2,093,143	2,092,138	2,075,767	2,074,365	2,059,553
高齢者(無料)乗車券	624,692	707,712	727,234	767,996	735,793	732,347	700,363	686,081	649,560	634,072
障がい者福祉乗車券	90,000	93,386	96,682	98,879	100,659	102,471	104,316	106,193	108,105	110,051
小計	2,466,595	2,706,698	2,870,391	2,974,820	2,947,099	2,927,961	2,896,817	2,868,041	2,832,030	2,803,676
貸切	51,511	47,344	46,867	67,793	67,459	67,141	61,099	61,099	61,099	61,099
運送雑収益	38,980	38,980	38,980	38,920	38,920	38,920	38,920	38,920	38,920	38,920
営業収益計	2,557,086	2,793,022	2,956,238	3,081,534	3,053,478	3,034,021	2,996,836	2,968,060	2,932,049	2,903,695
営業外収益	447,668	426,061	424,526	422,921	400,988	359,329	358,492	418,903	417,898	355,288
特別利益	3,239	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,007,993	3,219,083	3,380,764	3,504,455	3,454,466	3,393,351	3,355,328	3,386,963	3,349,947	3,258,983

【費用】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
人件費	2,531,445	2,458,733	2,403,402	2,428,237	2,407,341	2,401,734	2,414,035	2,369,022	2,363,832	2,363,832
物件費	340,073	340,073	340,073	340,073	340,073	340,073	340,073	340,073	340,073	340,073
経費	286,006	286,006	286,006	286,006	286,006	286,006	286,006	286,006	286,006	286,006
減価償却費外	267,286	347,144	392,063	389,383	338,282	447,703	422,590	375,500	471,767	463,882
営業費用計	3,424,810	3,431,956	3,421,544	3,443,699	3,371,702	3,475,516	3,462,704	3,370,601	3,461,678	3,453,793
営業外費用	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,424,935	3,432,081	3,421,669	3,443,824	3,371,827	3,475,641	3,462,829	3,370,726	3,461,803	3,453,918

※当年度純損益	△ 416,942	△ 212,998	△ 40,905	60,631	82,639	△ 82,290	△ 107,501	16,237	△ 111,856	△ 194,935	R3~R12 収支合計 △ 1,007,920
	【R3~R5収支計: △670,845】				【R6~R12収支計: △337,075】						
※未処分利益剰余金	2,189,844	1,976,846	1,935,941	1,996,572	2,079,211	1,996,921	1,889,420	1,905,657	1,793,801	1,598,866	

3 財務比率による市営バスの経営状況分析

・流動比率・・・低値であれば支払い能力が少ないことを示し、通常は200%以上が望ましい

(流動資産 ÷ 流動負債 × 100)

5,410百万円 ÷ 706百万円 × 100 = 766%(>200%)

・負債比率・・・負債が自己資本を超えないことが健全経営の第一義であることから

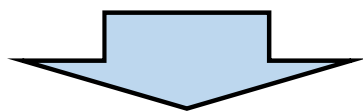
100%以下が望ましく、低値ほど良い

(他人資本 ÷ 自己資本 × 100)

2,064百万円 ÷ 8,480百万円 × 100 = 24%(<100%)

※流動資産・・・短い期間で現金化することが可能な資産

流動負債・・・1年以内に支払う予定の負債



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年度は大幅な赤字決算(約5億円)となり、令和3年度も厳しい状況になると予測されるが(約2億6千万円の赤字予算)、上記のとおり、現時点の財務比率による市営バスの経営分析では安定した状態といえる。そのため、今後はスピード感を持った更なる事業運営の効率化を図ることが重要となる

4 新型コロナウイルス感染拡大に伴う収支改善の取組

4-1 令和2年度に実施した収支改善の取組

①市内大学の休校等に伴う学期ダイヤ→学休ダイヤへの変更(影響路線:萩谷線、南平台東線、阿武山・塚原線)、乗務員採用計画の見直し等

・コスト削減効果 → 人件費:約8千万円、燃料費:約2千3百万円、合計:約1億3百万円

②政策事業の見直し等

・JR高槻駅南案内所リニューアル工事停止、案内所営業時間の短縮、委託業務発注見送り
車両減車(4台)等 → 約7百万円

※収支改善額 → 約1億1千万円

4-2 令和3年度当初予算における収支改善策(収支改善額は対令和2年度を示す)

①利用実態に応じたダイヤ改正(令和3年4月1日)

・コスト削減効果 → 人件費:約4千万円、燃料費:約2千7百万円、合計:約6千7百万円

②委託料等の見直し

・案内所営業日数の見直し、各種保守業務委託費等の見直し、車両減車による修繕費削減
→ 約4千6百万円

※収支改善額 → 約1億1千3百万円